

産業建設委員会

(所管事務調査資料)

愛知御津駅自由通路等概略設計について

令和3年9月9日

豊川市都市整備部都市計画課

1 事業経緯

愛知御津駅は、明治21年9月1日に「御油駅」として開業し、昭和23年に「愛知御津駅」に改称されました。昭和26年には駅前広場が設置され、ほぼ、現在の形態が整えられました。以降、駅舎や駅前広場の改修等を経て現在の愛知御津駅となっています。

愛知御津駅周辺の現状は、駅舎及び駅前広場が駅の北側のみにしかいないため、線路の南側からの駅利用者の利便性が悪いことや、通勤通学の送迎により駅前広場付近に渋滞が生じており交通安全上危険な状況にあります。

加えて、街の南北が線路で分断されており、小中学生などの通学や通勤、社会的活動などにおいて南北の往来に幅員の狭い御油踏切や梨野ガードを通行する必要があり危険な状況となっています。

このような状況から、地元では現在「愛知御津駅周辺まちづくり協議会」を組織し、その活動の幅を広げながら自由通路整備等について継続的な要望活動が実施されています。

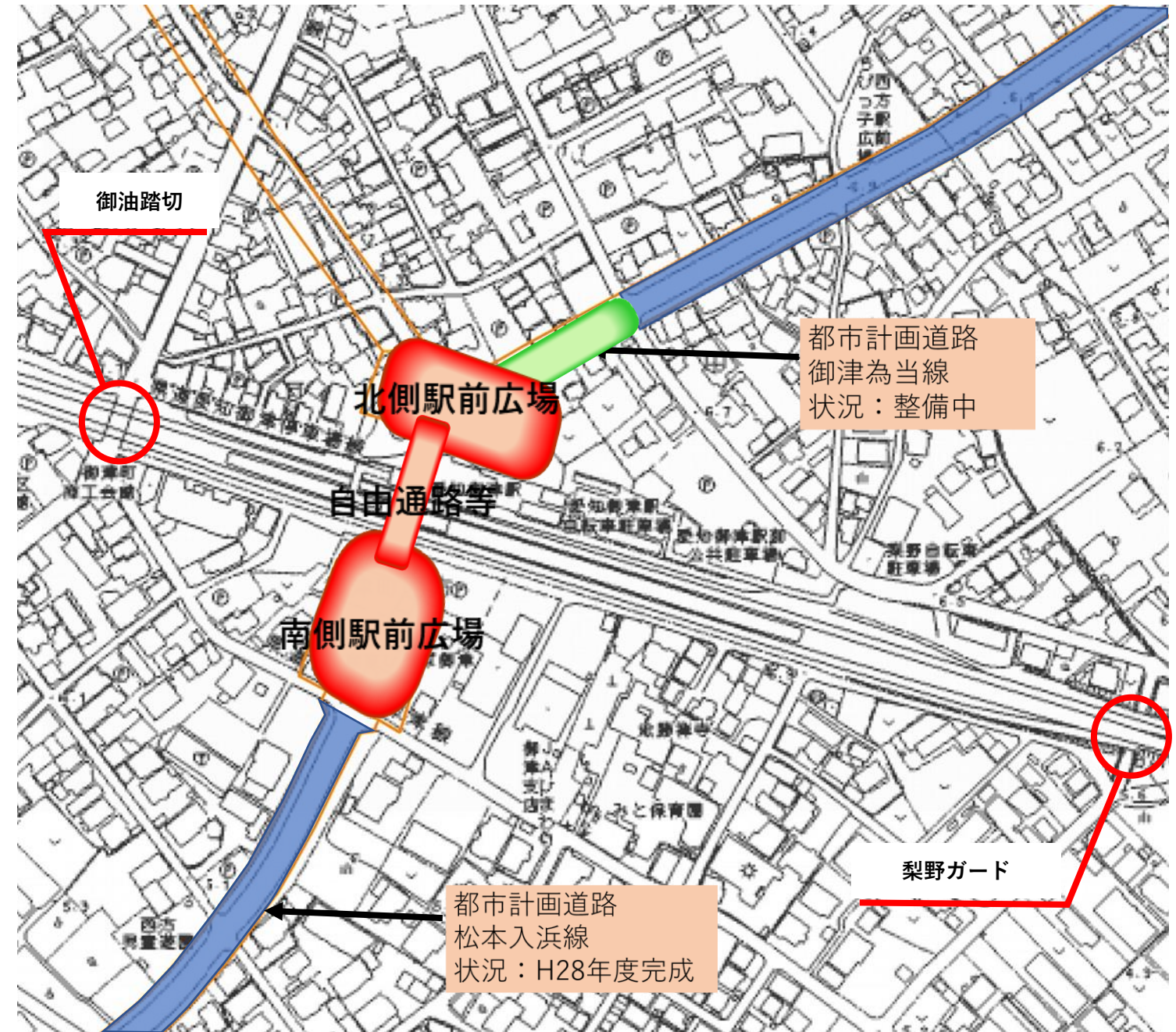
一方、豊川市としても、都市計画マスタープランでJR愛知御津駅及び周辺について、自由通路や橋上駅化、駅前広場整備を進め、生活環境や利便性の向上を図る地域として位置付けており、市長マニフェストにおいて愛知御津駅周辺整備を掲げ、事業の方向性を強く示したところです。

現在は、駅へ接続する幹線道路の整備を優先的に進め、都市計画道路松本入浜線は駅前広場部分を残して整備が完了し、御津為当線についても令和4年度の整備完了を目指しているところです。

幹線道路の整備が進むことで、駅へのアクセス性や、整備後の事業効果、工事施工時の資材運搬等の利便性等の向上が見込まれることから自由通路等の事業化に向けて関係機関と協議、調整を進めているところです。

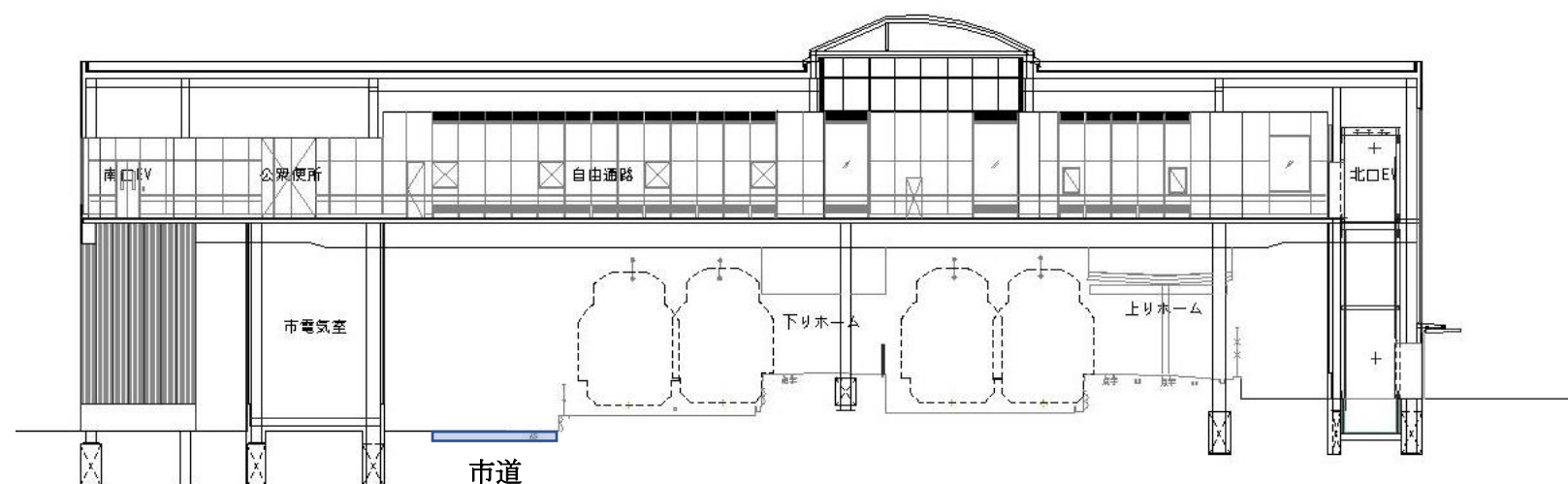
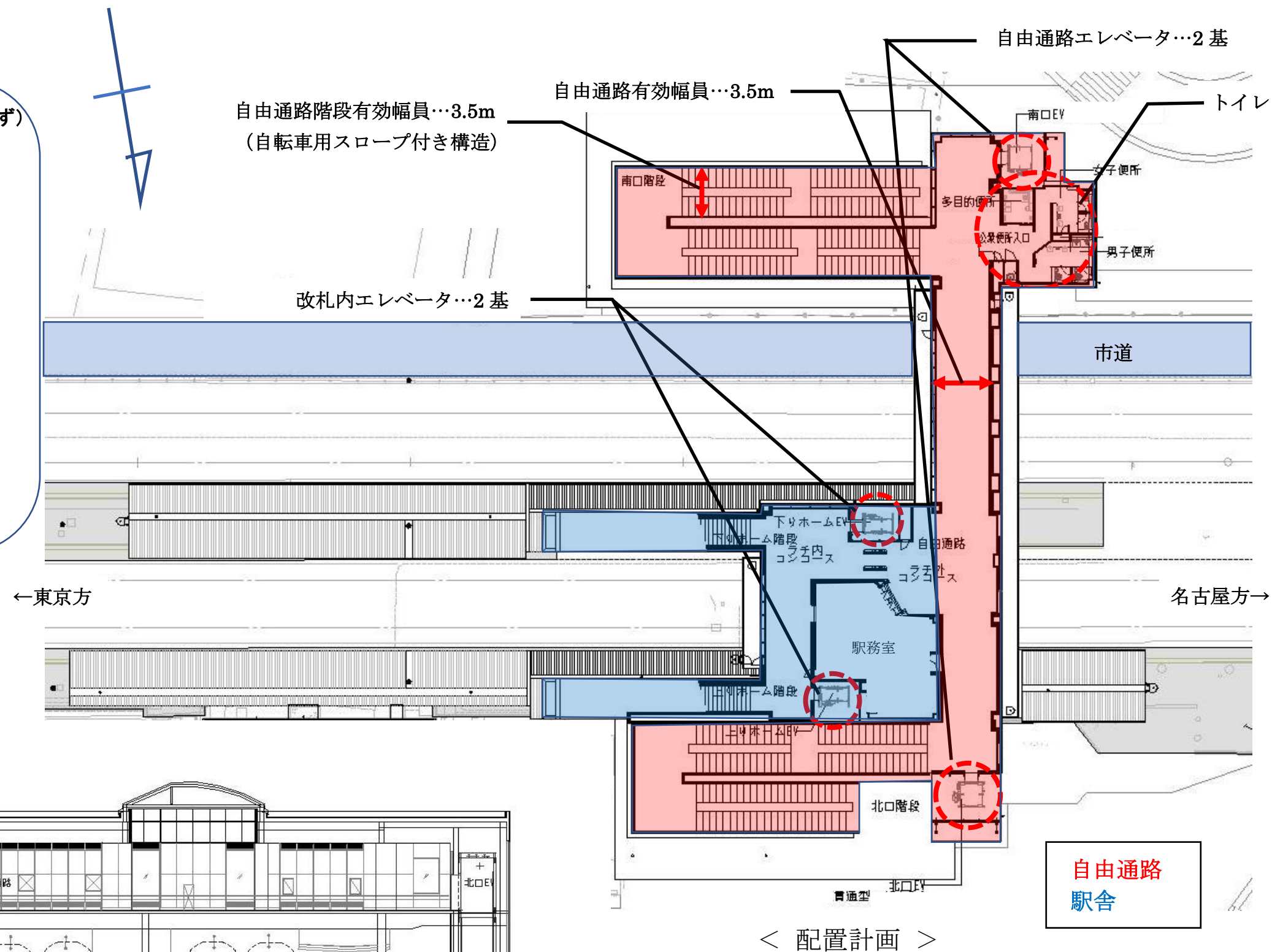
2 事業概要図

南北の駅前広場をつなぐ形で自由通路及び橋上駅舎の整備を進めます。



3 自由通路及び駅舎整備概要

- (1) 自由通路延長：約 47m（階段部を含まず）
- (2) 自由通路有効幅員：3.5m
自由通路階段有効幅員：3.5m
（自転車用スロープ付き構造）
- (3) 自由通路エレベータ：2基
改札内エレベータ：2基
- (4) 自由通路部にトイレ設置
（多機能トイレ有り）

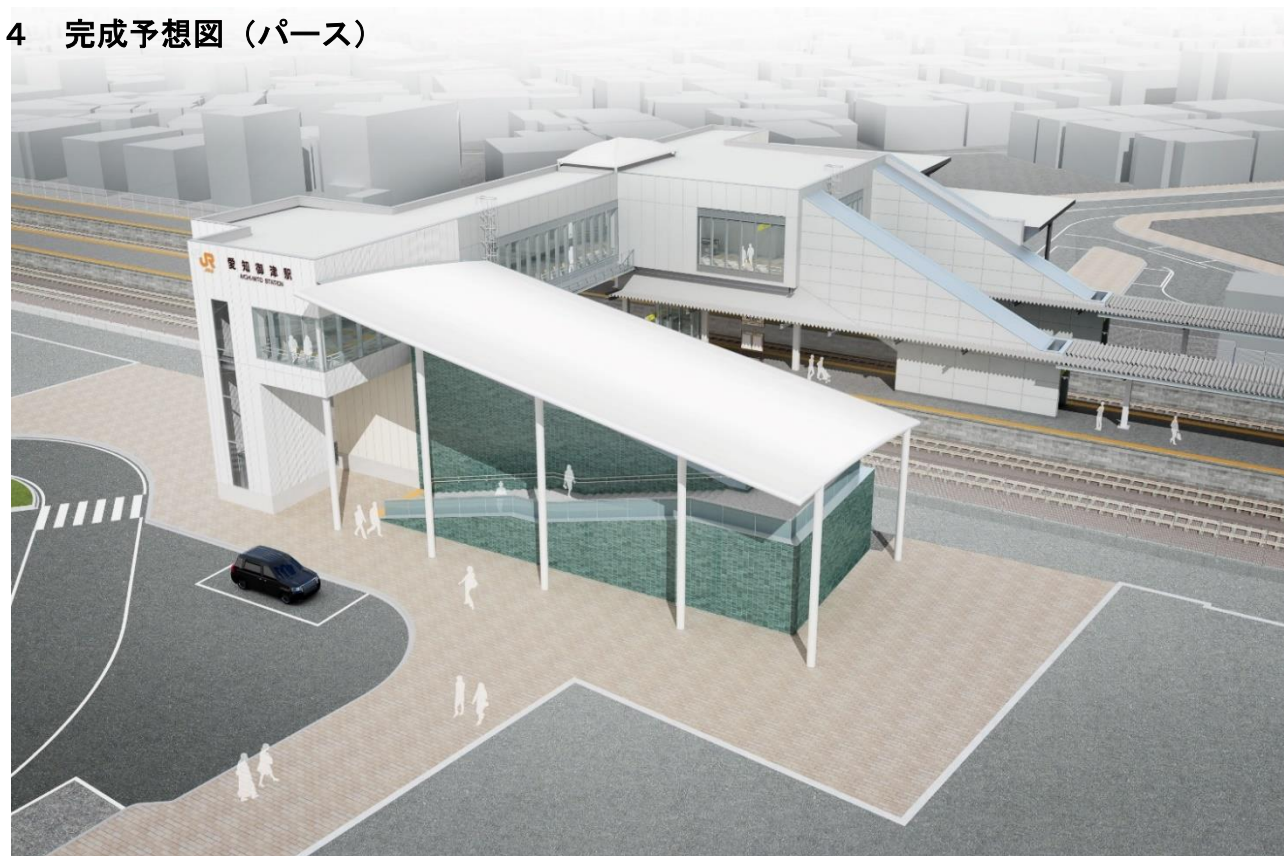


< 断面計画 >

南口

北口

4 完成予想図（パース）



< 鳥 瞰 >



< 外 観 （ 南 口 ） >



< 外 観 （ 北 口 ） >



< 内 観 （ 自由通路：改札付近 ） >



< 内 観 （ 自由通路：南口付近 ） >

5 概算事業費

・自由通路	13.8億円
・橋上駅舎	10.8億円
・支障移転	8.6億円
合計	33.2億円

自由通路の整備費及び自由通路整備に伴う駅舎の撤去、整備費、整備期間中の列車運行に必要な仮設駅舎、電気設備等の移転費用、設計費、全体業務に伴う管理費を含む金額です。

J R 東海財産以外の支障物撤去、移転に係る費用は含んでいません。

6 事業スケジュール（予定）

令和3年度以降は都市計画変更等の手続きのため各種の調整業務を実施し、令和4年度に自由通路等整備についてのJ R との事業合意を行うことを目指します。

なお、用地取得の進捗状況や鉄道施設に係る諸般のルールや方針変更等により工程に変更が生じる場合があります。

